

University of Shizuoka Magazine

静岡県立大学広報誌

No.132
2016. July

はばたき

特集

静岡県立大学 開学30周年記念

キャンパストピックス

平成28年度入学式

平成28年3月卒業者の内定率

研究室訪問

食品栄養科学部 栄養化学研究室

受賞一覧

日本薬学会第136年会で優秀発表賞



CONTENTS

- p01 **・特集**
・静岡県立大学開学30周年記念
- p05 **・CAMPUS TOPICS**
・平成28年度入学式
・平成28年3月卒業者の内定率
・平成28年熊本地震緊急報告会
・熊本地震被災者への募金活動報告
・グローバル地域センター「地震予知」部門がスタート
・開学記念行事
・適正飲酒の啓発セミナー
・障害学生支援室設立記念講演会
- p09 **・キャリア支援センターだより**
・チャリティーイベント「ブースト」
- p10 **・活躍する卒業生**
・国際関係学部卒業
・国際関係学研究科卒業
- p11 **・研究室訪問**
・No.12食品栄養科学部栄養化学研究室
三浦 進司教授
- p13 **・受賞一覧**
・受賞一覧
日本薬学会第136年会で優秀発表賞
- p15 **・産学民官連携**
・共同研究
ムスリムおもてなしガイドブック
- p16 **・男女共同参画社会への貢献をめざして**
- p17 **・図書館だより**
・シリーズ 私の一冊の本
- p18 **・Information**
・教員人事 弔事



表紙写真:芝生園地から望む谷田キャンパス

特集 静岡県立大



小鹿キャンパス

小鹿キャンパスは谷田キャンパスから約5km離れた街中にあります。看護学部（谷田・小鹿の両キャンパスで授業を実施）と短期大学部の、医療福祉系専門職育成に特化したキャンパスです。

芝生グラウンドから望む小鹿キャンパス



新看護学部棟

学開学30周年記念

静岡県立大学は、1987年4月に開学し、2017年に創立30周年の節目を迎えます。

そこで、2016年度は、来たる創立30周年に向け、1年間を通して、本学が静岡県の高度な教育研究機関であり、有為な人材の育成と優れた研究成果の発信を通して、地域社会、国際社会に大きく貢献すべきことを再認識するとともに、その決意を社会にアピールするため、「創立30周年記念事業」を実施します。



沿革

- 1983年(昭和58年) 9月 県立大学問題協議会から県立3大学(静岡薬科大学、静岡女子大学、静岡女子短期大学)を改組・統合し、総合大学とする答申が出される
- 1986年(昭和61年)12月 文部大臣から静岡県立大学の設置を認可される
- 1987年(昭和62年) 4月 開学
初代学長に内園耕二が任命される
- 1988年(昭和63年) 4月 大学院薬学研究科(博士前期・後期課程)を設置する
- 1989年(平成元年) 3月 校舎が完成する
- 1991年(平成3年) 4月 大学院生活健康科学研究科(修士課程)および国際関係学研究科(修士課程)を設置する
- 1993年(平成5年) 4月 第2代学長に星猛が任命される
- 1995年(平成7年) 4月 大学院生活健康科学研究科(博士後期課程)を設置する(修士課程を博士前期課程とする)
- 1997年(平成9年) 4月 看護学部および短期大学部歯科衛生学科・社会福祉学科を設置する
環境科学研究所(大学附置)を設置する
- 5月 創立10周年記念式典を開催する
- 1998年(平成10年) 4月 大学院経営情報学研究科(修士課程)を設置する
- 1999年(平成11年) 4月 第3代学長に廣部雅昭が任命される
- 2001年(平成13年) 4月 大学院看護学研究科(修士課程)を設置する
- 2002年(平成14年) 4月 大学院薬学研究科医療薬学専攻を設置する
10月 文部科学省21世紀COEプログラム(研究拠点形成費補助金)に本学「先導的健康長寿学術研究推進拠点」プログラムが採択される
- 2003年(平成15年) 1月 大学院国際関係学研究科の附属の研究施設として現代韓国朝鮮研究センターを設置する
- 2004年(平成16年) 4月 大学院薬学研究科の附属の研究施設として創薬探索センターを設置する
経営情報学研究科の附属の研究施設として地域経営研究センターを設置する
- 2005年(平成17年) 4月 第4代学長に西垣克が任命される
大学に健康支援センター、情報センターを設置する
環境科学研究所に地域環境啓発センターを設置する
- 2006年(平成18年) 3月 県議会2月定例会において、静岡県公立大学法人定款が議決される
4月 薬学部を薬学科(6年制)と薬科学科(4年制)に改編する
11月 創立20周年記念式典を開催する



開学当時の食品栄養科学部棟



1988年(昭和63年)2期工事中



1989年(平成元年)4月当時の正面玄関付近

静岡県立大学は、1987年4月に開学し、2017年に創立30周年の節目を迎えます。

現在は、5学部(薬学部、食品栄養科学部、国際関係学部、経営情報学部、看護学部)、1学府(薬食生命科学総合学府)、3研究科(国際関係学研究科、経営情報イノベーション研究科、看護学研究科)、短期大学部を擁する総合大学であり、約3,500人の学生が学んでいます。「地域をつくる、未来をつくる」を目標に総力を結集し、「県民の誇りとなる価値ある大学」の実現に向け、教育、研究、地域・国際貢献に励んでいます。

2016年度は、来たる創立30周年に向け、1年間を通して、『30年後の静岡へのメッセージ』をテーマにさまざまな記念事業を開催致します。

皆様の積極的な参加を期待しています。

2016年5月

学長 鬼頭 宏

- 2007年(平成19年) 4月 静岡県公立大学法人が設置・管理する大学となる
初代理事長に鈴木雅近が任命される
食品栄養科学部の食品学科を食品生命科学科に、栄養学科を栄養生命科学科にそれぞれ名称変更する
大学に言語コミュニケーション研究センターおよび事務局にキャリア支援センターを設置する
- 2008年(平成20年) 6月 文部科学省グローバルCOEプログラムに本学「健康長寿科学教育研究の戦略的新展開」が採択される
7月 男女共同参画推進センターを設置する
8月 大学院国際関係学研究科の附属の研究施設として、広域ヨーロッパ研究センターおよびグローバル・スタディーズ研究センターを設置する
- 2009年(平成21年) 3月 第5代学長に木苗直秀が任命される
- 2010年(平成22年) 4月 大学院薬学研究科薬科学専攻(博士前期課程)を設置する
- 2011年(平成23年) 4月 第2代理事長に竹内宏が任命される
大学院経営情報学研究科を改編し、経営情報イノベーション研究科を設置する(博士後期課程も同時に開設)
経営情報イノベーション研究科の附属の研究施設として、医療経営研究センターを設置する
- 2012年(平成24年) 4月 第3代理事長に本庶佑が任命される
大学院薬学研究科および生活健康科学研究科を改編し、大学院薬食生命科学総合学府および薬学研究
院・食品栄養環境科学研究院を設置する
大学院薬食生命科学総合学府に薬学専攻、薬科学専攻、薬食生命科学専攻、食品栄養科学専攻および
環境科学専攻を設置する
大学にグローバル地域センターを設置する
事務局に地域貢献推進本部を設置する
- 2013年(平成25年) 4月 大学院経営情報イノベーション研究科の附属の研究施設として、ICTイノベーション研究センターを設置する
11月 大学院薬学研究院の附属の研究施設として、薬食研究推進センターを設置する
- 2014年(平成26年) 3月 環境科学研究所を廃止する
4月 食品栄養科学部環境生命科学科を設置する
大学院食品栄養環境科学研究院の附属の研究施設として、食品環境研究センターと茶学総合研究センター
を設置する
7月 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に本学「ふじのくに」から「からだ・こころ・地域」の健康を担う人材育成拠
点」が採択される。
- 2015年(平成27年) 3月 小鹿キャンパスに新看護学部棟が完成する
4月 第6代学長に鬼頭宏が任命される
大学に「ふじのくに」みらい共育センターを設置する
- 2016年(平成28年) 4月 短期大学部にこども学科を設置する



2007年谷田キャンパス上空から

平成28年度入学式



会場前での記念写真

平成28年度入学式を、4月8日静岡市駿河区のグランシップで開催し、学部・短期大学部・大学院合わせて905名の新入生が、夢や希望の実現へ向け、静岡県立大学生としての一步を踏み出しました。

鬼頭宏学長は式辞の冒頭で、今年は開学30周年の節目にあたることに触れてから、「皆さん、30年後にはどうなっているでしょうか? 30年後に働き盛りとなる、まさに『地域をつくる、未来をつくる』主役である皆さんに、私は『自立とユニティー』という言葉をお贈りします。『自立』とは自分の頭で考え、生活面でも独り立ちすることです。『独立』と言っても良い。そこに和合や一体化という意味を持

つ『ユニティー』という言葉とセットで覚えていただきたいのです。すなわち、一人一人が自立しながら、一緒に手を組んで支えあっていってほしい。昨年から今年にかけて、障害者差別解消法や女性活躍推進法、18歳選挙権など、障害者、女性、若者の自立を促し、社会全体で支援していくことが宣言されました。私はこれに、高齢者や外国人、異なる文化、宗教に対する差別の解消も含めていただきたいと考えています。人は皆違うのだから、社会の多様性(ダイバーシティ)を尊重しようという記念すべき年に、皆さんは、新入生としてめぐり合わせたのです。『自立とユニティー』という言葉の意味をよく理解してその実践に心がけ、大いに研鑽を図っていただきたい。」と、新入生を激励しました。

食品栄養科学部の野村芙蓉さんが新入生を代表し、「現在、世界中で栄養不足やそれに伴う病で苦しんでいる人々がいる。私は将来、そのような飢餓に苦しむ人々のために、栄養を強化しバランスの取れた食品を開発したい。そのためには、大学で一般教養などを学ぶことはもちろん、世界に通用する英語力やコミュ

ニケーション能力を養い、地域と世界に貢献できる人材を目指して努力していきたい」と決意を述べました。

入学式典後には、クラブ・サークル紹介が行われ、チアダンス部、アカペラサークル、ジャズダンス部が、新入生を歓迎して見事なパフォーマンスを披露しました。

晴天に恵まれ、満開に咲く桜の花々のもと、新入生たちはこれからの自分の選んだ道で学ぼうとする意欲に溢れていました。



新入生代表の言葉を述べる野村芙蓉さん



学長からの祝辞

就職内定率 昨年に続き好調98.8%を達成

平成28年3月卒業(修了)者の就職状況は、学部生の就職内定率は99.1%で、全国の平均(97.3%)や県内大学の平均(94.7%)を大きく上回る結果となりました。

大学院修了者の就職内定率は、97.7%で、大学全体の就職内定率は98.8%でした。

平成28年3月卒業者の就職状況(平成28年3月31日現在)

	薬学部	食品栄養科学部	国際関係学部	経営情報学部	看護学部	学部計	大学院	合計
就職内定率	100%	100%	97.7%	100%	100%	99.1%	97.7%	98.8%
(前年度)	100%	100%	99.5%	100%	100%	99.8%	95.2%	99.1%

統計:キャリア支援センター

卒業(修了)者の主な就職先(平成28年3月)

薬学部 薬学研究院	アステラス製薬(株)、第一三共(株)、中外製薬(株)、小野薬品工業(株)、日医工(株)、科研製薬(株)、大正製薬(株)、(地独)静岡県立病院機構、(地独)静岡市立静岡病院、静岡県
食品栄養科学部 食品栄養環境科学研究院	亀田製菓(株)、日本ハム(株)、米久(株)、いであ(株)、(株)杏林堂薬局、(福)岐阜県福祉事業団、JA愛知厚生連 海南病院、東京都、静岡県、静岡市
国際関係学部 国際関係学研究所	日本ハム(株)、楽天(株)、(株)静岡銀行、静岡ガス(株)、静岡鉄道(株)、(株)静岡新聞社・静岡放送(株)、鈴与(株)、エンケイ(株)、静岡県、静岡市、静岡県教育委員会
経営情報学部 経営情報イノベーション研究科	中部電力(株)、アステラス製薬(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、矢崎総業(株)、スズキ(株)、(株)清水銀行、浜松信用金庫、静岡商工会、(福)聖隷福祉事業団、静岡市
看護学部 看護学研究所	(地独)静岡県立病院機構、静岡県立静岡がんセンター、(地独)静岡市立静岡病院、静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院、(独)国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター、浜松医科大学医学部附属病院、杏林大学医学部附属病院、静岡市、沼津市

平成28年熊本地震緊急報告会



熊本県立大学の教員との Web 中継

4月14日以降に発生した熊本地震に対し、本学では教員を被災地に派遣し被

害の状況や必要な支援について情報収集を行うとともに、学内での募金活動も行いました。被災地に派遣していた教員が戻った4月22日、「平成28年熊本地震緊急報告会」を開催しました。

本学グローバル地域センターの楠城一嘉特任准教授による熊本地震に関する地殻活動についての説明の後、現地に赴いた湯瀬裕昭・経営情報学部教授から現地調査報告が行われました。また、Web会議システムを使って熊本県立大学

と中継を結び、熊本県立大学の教員から地震直後の大学の状況をお話していただきました。



湯瀬裕昭教授から現地調査報告

熊本地震被災者への募金活動報告

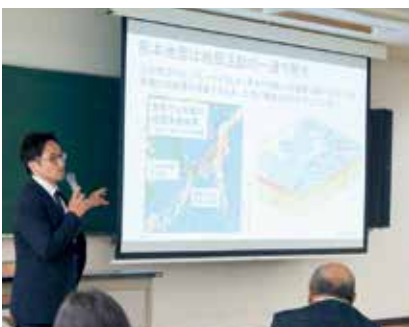
「熊本地震」被災者の方々への義援金を募るため、薬学部九州人会（九州出身の学生、教員）及び本趣旨に賛同した教員と学生が、4月20日の開学記念日に開催されたUSフォーラム会場等と、4月21日のお昼休み時間に2箇所の学生食堂において募金活動を行いました。さ

らに4月20日から4月28日までの間、学内事務局に募金箱を設置して、義援金を募りました。結果、学生、教職員より総額177,643円が寄せられ、全額を5月2日に日本赤十字社あてに義援金として寄付しました。



学生による募金活動

「ふじのくに」を監視する:グローバル地域センターの「地震予知」部門がスタート



楠城一嘉特任准教授による講義の様子

今年度グローバル地域センターは、静岡県との要請を受けて、「地震予知」部門を新設しました（総括：楠城一嘉特任准教授）。

「ふじのくに」静岡県はその名の通り富士山があり、また駿河湾をはじめとする自然が豊かで風光明媚な県です。自

然の恵みである山海の幸や温泉等は本県の自慢ですが、その自然は、大陸プレートにフィリピン海プレートがぶつかる地殻変動でできたことはご存知の通りです。その地殻変動の産物を利用して上記のような文化的・産業的価値を生み出しつつも、もう一つの産物である駿河・南海トラフと相模トラフ沿いで発生する巨大地震・大津波や富士山噴火などのリスクと共生していることは、本県の大きな特徴です。

そこで「地震予知」部門は、本県のリスク軽減のために将来の地殻変動へ見通しをつけるという目的を持って、地震予知を目指す幅広い分野の研究を行うことになりました。併せて火山・津波防災に資する科学研究を行い、本県

の防災施策へ提言していきます。将来の静岡県を担う県立大生に対する授業や一般県民向けの社会教育では、地震や津波・火山の知識をいかに防災へ活用するかを伝えていきます。

巨大地震・大津波や富士山噴火などのリスクとうまく付き合うための学術的基盤づくりを通して、静岡県の更なる発展に貢献する所存ですので、何卒一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



楠城一嘉特任准教授

平成28年度開学記念行事について



第3部「シンポジウム」で

今年で25回目となる開学記念行事を4月20日(水)に開催しました。運動会、USフォーラム、シンポジウム、懇親会の4部構成で、学生や教職員が交流を深めました。

第1部の「運動会」は、天気恵まれグラウンドでの開催となり、鬼頭宏学長の挨拶と学生代表らの選手宣誓で始まりました。参加者は、赤、青、緑、



運動会種目「台風の日」



優勝は青色チーム

黄色の4グループに分かれて、リレーや玉入れなど熱い戦いが繰り広げられました。今年は、青色チームが優勝しました。開学記念行事実行委員会委員長である小針進学生部長（国際関係学部教授）が講評を行い、閉幕となりました。

第2部の「USフォーラム」は、谷田キャンパス看護学部棟13411講義室で開きました。平成27年度の学内研究に採択した全学部の研究成果（教員特別研究推進費等）と文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（COC（Center of Community）事業）の報告会として、口頭発表21件、ハイライト口頭発表9件が行われました。



USフォーラム発表

なお、今年度の参加者は、次のとおりでした。ご協力ありがとうございました。

区 分	参加者数(人)
第1部 運動会	221
第2部 USフォーラム	293
第3部 シンポジウム「30年後の静岡へのメッセージ」	130
第4部 はばたきのつどい	296
計	940

*第4部の参加者数は、参加券の販売枚数基準。

第3部は、第2部と同じ会場で、静岡県立大学創立30周年事業の開会が、小林裕和実行委員会委員長（副学長）から宣言されました。引き続きシンポジウムを開催し、「30年後の静岡へのメッセージ」をテーマに、津富宏コーディネーター（学生部副部長、国際関係学部教授）の司会により、佐山音緒さん（食品栄養科学部）、宋復燃さん（薬食生命科学総合学府）、土肥潤也さん（経営情報学部）からの「他学部との意見交流の場が欲しい」、「学内情報の透明化」、「効率的な大学を作ろう」といった大学への提案や問題提起に対して鬼頭宏学長がコメントしました。また、参加した学生からも提案、問題提起があり、積極的な討論がなされました。



学生からの問題提起

第4部の「はばたきのつどい」は、学生ホールで、多くの教職員、学生の参加をいただき開催しました。おおとり会の長屋梅子会長から「ジャグリングクラブ五臓六腑」に「おおとり会賞」、鬼頭宏学長から食品栄養科学部村松孝亮さんに「はばたき賞」が授与されました。

また、第1部の運動会の表彰やチアダンス部（GOLD ROWDIES）とジャズダンス部のアトラクションが披露され、大いに盛り上がりしました。



学生によるパフォーマンス

■ 適正飲酒の啓発セミナー



人見章氏の講演を聞く学生たち

4月26日昼休みのクラブ・サークル総会にて、学生向け適正飲酒の啓発セミナーを実施しました。静岡県焼津市に工場を持つサッポロホールディングス株式会社の人見章氏を講師に、「酒活の準備はしっかりと!」と題して、お酒の正しい知識を身に付けるためのお話をいただきました。未成年は絶対に飲酒しない、酔いの状態、イッキ飲みや多量飲酒は禁止、飲み会のマナーについてなどのお話の後、缶ビールの美味しい注ぎ方の実演も行われました。最後に、参

加したクラブ・サークルの代表者の学生たちは、「アルコールハラスメントをしない、イッキ飲みをしない・させない」との宣誓書を提出し、楽しく健康的なお酒との付き合いを誓いました。



缶ビールの美味しい注ぎ方の実演

■ 障害学生支援室 設立記念講演会を開催



障害学生支援について真剣に聞く参加者

4月1日に本学内に障害学生支援室が設置されたことを記念して、5月27日に教職員を対象に講演会を開催しました。国際関係学部教授で、内閣府障害者政策委員会委員長である石川准・教授から、「高等教育における障害学生支援のあり方」と題してお話いただきました。心身の機能的障害と社会的障

壁の相互作用が困難だけではなく障害の文化をももたらすという観点から、行政機関等や事業者がはらうべき配慮や環境整備の必要性をわかりやすく説明していただきました。質問にも丁寧に答えていただき、参加者は大学における障害学生支援のあり方について理解を深めました。

開催イベント告知

10/29^土・30^日

第30回

剣 祭

谷田キャンパス

今年のテーマは「一期一宴」。

毎年恒例のお化け屋敷や各種ステージ企画のほか、クラブ・サークル等による模擬店、ライブ&イベントが行われます。また、本学の教育・研究を体験できる模擬授業や、ゼミ、研究室の一般開放も予定しています。

一般のお客様にも楽しんでいただけるよう様々な企画をご用意してお待ちしております。

☎054-264-5075

✉ tsurugi@u-shizuoka-ken.ac.jp

11/12^土・13^日

第20回

橘 花 祭

小鹿キャンパス

短期大学部の大学祭です。今年のテーマは「INNOVATION」。各学科の展示や模擬店のほか、バンドや各種コンテストなどのライブステージを行います。

またホームカミングディや同窓会総会も併せて開催されます。

☎054-202-2603

http://oshika.u-shizuoka-ken.ac.jp/

キャリア支援センターだより

キャリア支援センターは、「働き方」を含めた「生き方」全体をその人の「キャリア」ととらえ、皆さんが自らの「キャリア」を主体的、自律的に選択・決定していく力をつけるための支援を行っています。

キャリア形成に関わる講演会やセミナー、就職活動の仕方から具体的な試験対策講座まで、多種のガイダンスを開催するほか、求人開拓員による企業訪問や専門のアドバイザーによる個別相談を実施するなど、きめ細かな支援を行っています。

まずは気軽に、はばたき棟1階キャリア支援センターへ！



学外からの講師によるキャリアガイダンスの様子

キャリア支援センター活用のススメ ～意外と知られていないので利用しましょう～

先輩の就職活動報告書

就職を決めて卒業した先輩から提供のあった就職活動記録を卒業年度別 / 学年別 / 産業別にファイリングしてあります。採用試験の方法や後輩へのアドバイスなど、これから就職活動をする皆さんの参考になるはずです。

就職関連書籍

キャリア開発・自己PR・業界企業研究・面接対策・SPI等筆記試験対策・マナー・履歴書エントリーシート対策・公務員試験対策等の書籍があり、自由に閲覧できます。また、持ち出し厳禁以外の書籍については貸し出しにも応じています。キャリア支援センター職員に申し出てください。本のリクエストも受け付けています。

アドバイザーによる個別相談

朝9時から夕方5時まで、本学専任のアドバイザーが学生の皆さんの就職・進路に関する相談、採用面接の練習等に応じています。基本的に予約制ですので、事前にキャリア支援センターにお申し込みください。

8月上・下旬には、公務員試験対策講座(教養・専門)を実施します。その他ガイダンス情報は、キャリア支援センターにお問い合わせください。

「卒業生の皆様へ」

就職活動を進める在学生にとって、先輩方のお話を直接うかがうことのできるOG・OB訪問は、企業や仕事に対する理解を深めるうえで非常に有意義なものと考えられます。御協力いただける方は、キャリア支援センター(syusyo@u-shizuoka-ken.ac.jp)に情報をお寄せください。今後とも卒業生の皆様のご協力をお願い申し上げます。

「ゲームでつながる、チャリティーイベント「ブースト」開催」

1月23日静岡市草薙児童館及び有度生涯学習交流館にて、国際関係学部のディハーン准教授と同学部の学生たちが、ゲームを通じたチャリティーイベント「ブースト」を開催しました。この活動は、静岡県立こども病院で闘病生活を送っている子どもたちの支援や、児童館の子どもたちや地域の方々とのゲームによる交流を目的としています。会場には、体を動かすゲームや、仲間と協力してプレイするゲームなど様々な種類のゲームとともに募金箱を設置し、寄付を募りました。当日はおおよそ200人の方々が参加され、4万円の寄付を集めることができ、前回の3倍の規模となりました。そして集めたお金でゲームやおもちゃを購入し、同



「ブースト」ロゴ、活動の様子

病院に寄付いたしました。また、病院への寄付の様子は静岡新聞に取り上げられました。今後もより多くの方々に「ブー

スト」の活動を知っていただき、子どもたちが治療に前向きに取り組むことができるような支援を続けていきます。

活躍する卒業生

The graduate who plays an active part



お名前 本間 徹さん

卒業学部 国際関係学部国際言語文化学科
ヨーロッパ文化コース 剣持ゼミ
(2011年3月卒業)

勤務先 株式会社安心堂

Q1. 現在のお仕事についてお聞かせください。

静岡県を拠点とする、時計・宝飾・メガネ・美術品などの販売をする会社に勤めています。現在は憧れの海外転勤の希望が叶い、フランス・パリの「世界一華やかな通り」と呼ばれるラ・ベ通りにあるお店でロレックスを始めとする高級ブランドの腕時計を販売しています。パリのお店には、世界中の有名スポーツ選手や著名人など、テレビで見て憧れていた方が多々来店されます。

私たちの仕事は、お客様に楽しんでもらって笑顔になってもらうことです。お客様から「ありがとう」と言ってもらえたり、「パリでの最高の思い出になりました!」と言ってもら

えたときは本当に嬉しいです、やりがいを感じます。

Q2. 大学生活での経験が、今のお仕事に影響を与えたことはありますか？

ゼミでは第二次世界大戦期のフランス史を専攻していましたが、日本語の専門書がなかったためフランス語の本を訳して卒論を書きました。夏休みの大半を翻訳作業に費やして、正直大変でしたが学生時代だからこそできた貴重な体験だったと思います。

サークルでは吹奏楽部に所属し、コンクールや合宿、定期演奏会と、みんなで一つの目標に向かって取り組みました。3年次には部長を務めさせていただき、より良い演奏をするにはどうしたらいいのか、どうしたら来場したお客さんに楽しんでもらえるのだろうか、と考えながら部活に取り組んでいました。形は違いますが、今の仕事でも根本の考えは共通していると思います。

Q3. 静岡県立大学に入学してよかったと思うことはありますか？

県大の良い点は教授との距離が近いことです。わからないことがあれば気軽に質問に行ける環境は学生にとって大きなメリットだと思います。どの教授も個性的で、楽しみながら知識を身につけることができました。

サークルでは先輩、後輩、学部の垣根関係なく友人ができ、卒業後もよく遊んでいます。県大でできた友人は志が高い人ばかりなのでお互いに切磋琢磨できる関係です。

Q4. 今後の目標について教えてください。

世界で通用するジュエラー、時計商になることが目標です。歴史やブランドについて学ぶことはもちろんですが、時計好きな方にはファッションやモノにこだわりが強い方が多いので、時計、ジュエリー以外の知識も学ばなければなりません。

また、一日も早く、英語やフランス語で不自由なくコミュニケーションを取れるようになり、どの国からのお客様にも満足してもらえるようになりたいです。

Q5. 在学生にひとこと、メッセージをお願いします。

社会人になってから「学生時代にあれもこれもやっておけばよかった」と後悔しないように、勉強以外のことも体験すると良いと思います。

機会があれば海外にも足を運んでみてください。今まで知らなかった世界を知ることができるのと同時に、日本を違った角度から眺めることができると思います。

パリはいたるところに歴史的な建造物があり、街並みもとても美しく、散歩をするだけでもとても楽しめる街です。休日にはルーブル美術館などでアート鑑賞、音楽イベントや演劇鑑賞などを楽しんでいます。サッカーのチャンピオンズリーグで一流クラブの試合観戦ができること、ローランギャロスにて行われるテニスの全仏オープンで錦織選手の試合を観ることができるのもパリのいいところです!

お名前 影山 葉子さん

卒業学部 国際関係学研究科
(2004年3月修了)

勤務先 静岡県立大学看護学部

影山さんは、看護師として病院での勤務経験を経て、国際関係学研究科に入学した異色の経歴の持ち主です。

Q1. 現在のお仕事についてお聞かせください。

教員として、看護師養成に携わっています。主に、病院での実習指導をしています。実習先の病院で卒業生が元気に働いていて、「先生〜!」と声をかけてくれると、「教員をやっているよかったなあ」と思います。また、教えることに苦手意識があったのですが、実習で学生と一緒に患者さんやご家族と関わる中で、学生が「先生の看護の視

点から学んだこと」を言ってくると、とても嬉しくて、やりがいを感じるようになりました。

Q2. 大学院での学びを通し、今のお仕事に影響を与えたことは何かありますか？

看護学以外の学問領域から看護をみつめられたことで、人やものの見かたや捉えかたが大きく変わりました。看護師が会う患者さんやご家族は、本当に多様です。修士論文を書き上げた時、大学院で学んだことがどれだけ自分の看護実践に関わってくるか、「一日も早く臨床に戻って看護をしたい!」とワクワクしたことを覚えています。

Q3. 静岡県立大学に入学してよかったと思うことはありますか？

地元企業による、返還義務なしの奨学金が豊富にある大学だと思いました。看護師と

してある程度の経験を積んでから大学院に入学し、経済的な面で親に頼ることはしなかった私にとっては、とても助かりました。また、国際関係学研究科に所属しながら、看護学部棟にもよく出入りしていました。物理的にも心理的にも、非常に居心地の良い環境でした。

Q4. 今後の目標について教えてください。

これからは、大学院で学んだことを実践した経験を踏まえて、後輩たちを育てていく立場だと思っています。そのためにも、国際関係学研究科での学びを活かし、今後も看護学以外の他（多）領域との学際的な研究を通して、広がりのある研究と、看護学にしかできないことを探求していきたいと考えています。



食品栄養科学部 栄養化学研究室

三浦 進司 教授

適正な運動と食生活がもたらす健康効果を解明する

— 先生が取り組まれている研究が、私たちの健康維持・増進にどのような役割を果たすかについてお聞かせください。

健康で長生きするためには、正しい食生活や適切な運動を継続することが重要です。特に運動が健康に良いことは多くの人が認識しています。運動の効果は体力や筋力を向上させるだけでなく、様々な医学的恩恵を全身にもたらします。例えば、習慣的に運動を行うと、生活習慣病、アルツハイマー病、うつ病、大腸ガンなどの発症リスクが抑制されること、免疫機能や代謝機能が活性化されることが報告されています。これらには骨格筋の性状変化による持久力・筋力などの筋機能の改善と、骨格筋由来の生理活性物質を介した多臓器機能の改善などが関与すると推測されていますが、その詳細なメカニズムはよくわかっていません。運動がもたらす効果を解明すること

は、より効果的な疾患予防法や治療法、これまでに有効な対処方法がなかった筋萎縮などに対する新規治療法開発に役立つ情報として活用されと考えられます。本研究室では、上記の課題にアプローチするため、遺伝子組換え動物、培養細胞、オミクス解析などの最先端技術を用いることにより、運動や不活動により骨格筋がどのようなメカニズムを介して、どのように変化するのか、その変化により骨格筋や多臓器の機能にどんな影響をおよぼすのかを解析しています。また、筋機能を正常に保つための食品成分や医薬品候補化合物の探索も実施しています。さらに、肝臓での栄養素代謝調節機序解明や、食生活の乱れを正確に診断するためのバイオマーカーの探索にも取り組んでいます。近年では、静岡県教育委員会等と協力して、高校生に対して科学体験学習を実施しています。食品栄養科学に対する興味・関心を引き出し、将来的に県立大で学びた

いという意欲的な高校生にお会いできたらと願っています。

— 現在の研究を行おうと思われたきっかけは何ですか。

これまでに脂質代謝と生活習慣病に興味を持って研究を行ってきました。前職場である、国立健康・栄養研究所で運動による脂質代謝改善効果のメカニズム解明に取り組むことになったのですが、そこで運動が持つ健康効果に魅了され、運動や骨格筋に関する研究を専門とするようになりました。以前は病気になったら医者から処方された薬で治せばよいという先入観を持っていましたが、今では食生活や運動が疾病予防に大変重要であることを十分認識しながら、運動の健康効果を解明することは、未だ知られていない疾病予防法の開発や、創薬標的の発見になるのではないかと考えて研究を行っています。

— 研究室での学生たちの様子を教えてください。

着任して5年目になりますが、これまでに所属した学生の多くは研究に魅力を感じて大学院に進学しています。また、他大学から大学院に入学した学生もいます。所属学生には、各自の自主性を重視しながら研究室全体でバックアップする体制で、研究テーマに取り組んでもらっています。自ら課題を見つけ、もっと知りたい、調べたいといった意欲を持ち、自分のアイデアや意見を積極的に言い出せるようになってもらいたいと思っています。私たちの研究室では「研究室生活を通じて社会人を身につけよう」というスローガンのもと、互いに協力かつ切磋琢磨して研究に取り組んでおり、所属学生の人間としての成長も見受けられます。お花見、食事会、研究室旅行など学生が自主的に企画するイベントや、学会参加、他大学の研究室との交流会も積極的に行っています。所属学生は栄養化学研究室らしさを一体感を持って醸し出してくれており、とても嬉しく感じています。

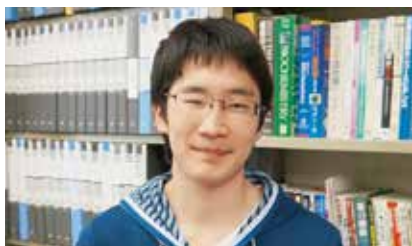
STUDENT VOICE



博士後期課程2年

佐藤 友紀さん

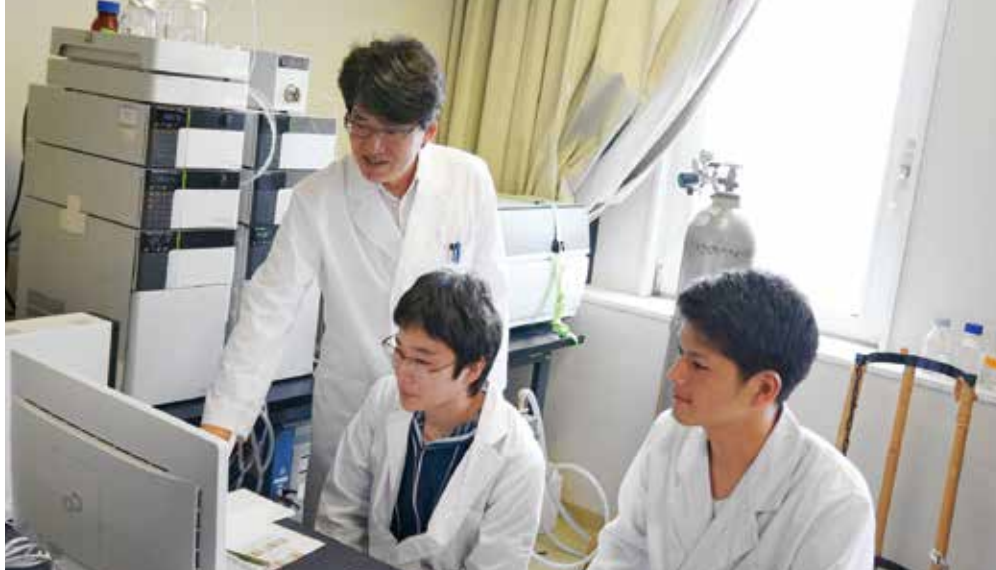
本研究室では、肝臓、筋肉をはじめとしたエネルギー代謝を行う臓器に着目して研究を行っています。栄養学ではどのようなものを摂取すべきか、という点が注目されがちですが、摂取したものがどの臓器でどのように代謝されるかを理解することも重要になり



博士前期課程1年

榛葉 有希さん

研究室ではパソコンの前で解析をするだけというよりは実験を通して学びたいという



三浦教授による研究室での指導風景

— 県立大の教員として指導されるにあたってのやりがいを教えてください。

「打てば響く」学生が多く、こちらが投げかけをすると想像以上のものを返してくれます。研究初心者として研究室に配属される学生が、研究活動を通して大きく成長する姿を見せてくれます。研究においては「鳥の目と虫の目」を持つこと、つまり全体像を把握し、自分の立ち位置を認識しつつ、より深く丁寧に詳細を追

求していく姿勢で取り組むように指導しています。自分自身で学ぶ力、論理的に考える力、相手を納得させられるコミュニケーション能力を磨き、社会で求められる課題発見・解決能力、コミュニケーション能力を身につけてもらえるよう心がけています。所属学生が積極的に研究や議論を行える環境を物心両面から整えることにも努力しています。こうした中で、彼らの成長ぶりを側で実感できることに大きなやりがいを感じています。

ます。食生活の乱れはこれらの代謝臓器の機能を低下させ、生活習慣病を引き起こします。

現在、多くの医療施設でNST (nutrition support team) が発足され、栄養療法的重要性が再認識されています。しかし、医療現場における栄養介入は疾病治療促進を目指したものが主流であり、高齢化がますます進む我が国では予防に対する栄養のあり方を探索することも必要となります。私は「食後の肝臓における脂肪酸合成促進機序の解明」というテーマで研究を行っており、2型糖尿病をはじめとした生活習慣病予防のための栄養療法構築を最終目標にしています。医療における新たな栄養療法を構築できる研究者を目指し、今後も研究に取り組んでいきたいと思っています。

希望がありました。研究室訪問に行った際に研究室の温かい雰囲気と三浦先生のお人柄に惚れて、栄養化学研究室への配属を決めました。現在、運動が動脈硬化を予防するメカニズムを遺伝子組換えマウスを用いて明らかにしようとしています。研究室では、研究だけではなく互いに切磋琢磨しながら企画力やプレゼン力、見通しを持って動く計画力なども身につけることができます。今後もそのような力を養い、地元に貢献できるような仕事に携わりたいと考えています。



三浦進司 教授

1967年生まれ静岡県出身。京都薬科大学薬学部卒業。静岡県立大学大学院薬学研究科修了。博士(薬学)。第一製薬(株)、米国立衛生研究所 (NIH)、国立健康・栄養研究所などを経て、2012年から本学に奉職し2014年に食品栄養科学部教授に就任。

栄養化学研究室
教員2名 学生11名

<http://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/labs/nutrbioc/index3.html/Home.html>

教員・学生の受賞

各受賞の詳細については本学公式サイトニュース&トピックスからご覧いただけます。

教 員

受賞者名	所属	受賞名
田中 紫菜子 助教	薬学部	第36回日本臨床薬理学会年会 優秀演題賞
鮒 信学 准教授	食品栄養科学部	日本農芸化学会 2016年度農芸化学奨励賞
豊岡 利正 教授	薬学部	平成28年度日本薬学会 学術貢献賞
奥 直人 教授	薬学部	平成28年度日本薬学会賞
小西 英之 助教	薬学部	平成28年度有機合成化学協会東海支部奨励賞
伊藤 圭祐 准教授 他	食品栄養科学部	2016年度日本農芸化学会大会 トピックス賞
江上 寛通 助教	薬学部	日本化学会第96春季年会 優秀講演賞(学術)

学 生

受賞者名	所属	受賞名
藤原 朋宏	薬食生命科学総合学府	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 最優秀プレゼンテーション賞
王 齊 渡辺 悠人	薬食生命科学総合学府	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 優秀プレゼンテーション賞
榛葉 有希	食品栄養科学部	
西 美有紀 渡邊 あいり	経営情報学部	静岡市 人材養成塾「地域デザインカレッジ 2015」 学長賞、シチズンシップ賞
小林 祐介	経営情報学部	静岡市 人材養成塾「地域デザインカレッジ 2015」 審査員賞
望月 麻実	看護学部	静岡市 人材養成塾「地域デザインカレッジ 2015」 コーディネーター賞
田森 涼太 常盤 有可 望月 秀哉 山縣 知加	経営情報学部	第14回 SOHO しずおかビジネスプランコンテスト 最優秀賞
白崎 愛 矢川 魁人 寺田 南 佐藤 駿也	経営情報学部	第14回 SOHO しずおかビジネスプランコンテスト 奨励賞
山岸 祐己	経営情報イノベーション研究科	DEIM2016 第8回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(第14回日本データベース学会年次大会) 学生プレゼンテーション賞
野田 誠紀	薬食生命科学総合学府	茶学術研究会30周年記念大会講演会 奨励賞
中田 裕之 小池 勇太	薬食生命科学総合学府	茶学術研究会30周年記念大会講演会 ポスター賞
アリフ・マウラナ	経営情報イノベーション研究科	情報処理学会 第78回全国大会 学生奨励賞
永倉 卓弥 工藤 直哉 大石 真生	経営情報学部	
澤谷 俊明	薬食生命科学総合学府	第89回日本薬理学会年会 学生優秀発表賞
妹尾 奈波	薬食生命科学総合学府	米国生化学・分子生物学会 2016大会 ASBMB2016 Annual Meeting Travel Award

※学生の所属は受賞時のものです

教員活動評価における業績優秀者への学長表彰

静岡県立大学では、教員の教育研究活動等の一層の向上を図ることを目的として、教員活動評価を実施しています。このたび、2014年度(平成26年度)の教員活動評価における業績優秀者13人に対して、学長表彰を行いました。

学部等	職位	受賞者名	学部等	職位	受賞者名
薬学部	教授	森本 達也	国際関係学部	教授	寺尾 康
	准教授	浅井 知浩		教授	湖中 真哉
	准教授	高橋 忠伸		准教授	澤崎 宏一
	助教	南 彰	経営情報学部	教授	岩崎 邦彦
食品栄養科学部	教授	合田 敏尚	短期大学部	准教授	立花 明彦
	教授	坂田 昌弘		講師	林 恵嗣
	助教	三好 規之			

※職位は受賞時のものです

大学院生・学部生12名が日本薬学会第136年会で優秀発表賞

3月26日から29日に横浜で開催された『日本薬学会第136年会』において、本学大学院生・学部生が優秀発表者賞を受賞しました。この賞は、日本薬学会第136年会での発表の中から審査され、優秀な演題に贈られるものです。本学からは全国で最も多い12名の受賞者（東京大学と同数）を出す快挙でした。

所属	氏名	演題
薬食生命科学総合学府 博士前期課程2年	石渡 千裕	ジアシルグリセロールキナーゼは膵β細胞において細胞増殖抑制に働く
薬学部6年	中嶋 小百合	アリピプラゾール含有グミ製剤の開発に関する研究（第4報）—グミ製剤における官能的マスキングの評価—
薬食生命科学総合学府 博士後期課程3年	紅林 佑希	薬剤耐性インフルエンザウイルスの迅速かつ選択的な検出分離法の確立
薬学部4年	兼子 裕規	Fine Droplet Drying 工法による高機能性固体分散体制剤の開発（1）- 難水溶性医薬品の生物薬剤学的特性向上を指向した固体分散体 -
薬食生命科学総合学府 博士前期課程1年	橋本 正寛	siRNA および Verteporfin を用いたがん併用療法
薬食生命科学総合学府 博士課程3年	福田 達也	新規 PET プローブを用いたリボソーム化 FK506 の脳保護効果解析
薬食生命科学総合学府 博士前期課程2年	成田 雄大	マクロファージを標的としたリボソーム DDS の応用による動脈硬化不安定プラークの近赤外蛍光イメージング
薬食生命科学総合学府 博士課程1年	佐宗 裕久	Pd-DHTP 触媒を用いた塩化アレーンによる無置換インドールの C-3 位選択的 C-H アリール化
薬食生命科学総合学府 博士前期課程2年	高山 卓大	新規ノンターゲットキラルメタボロミクスの開発と応用
薬学部4年	平井 大貴	界面反応を伴う薬物の溶解挙動解析のための数値モデルの構築と評価
薬学部4年	亀井 七海	オリゴペプチド結合タンパク質の精製と結晶化
薬食生命科学総合学府 博士前期課程2年	後藤 篤実	バクタマイシンの合成研究

※学年は学会発表時のものです

受賞

薬学部奥直人教授が 平成28年度日本薬学会賞を受賞

薬学部 奥直人教授が、平成28年度日本薬学会賞を受賞しました。受賞研究内容は、「リボソーム DDS 技術革新と疾患治療への応用」です。日本薬学会賞は、同学会の最高位の賞であり、薬学の基礎および応用に関し、同学会を代表するに足る研究業績をあげ、世界の学術進歩に著しく貢献した研究者に贈られるものです。

昭和62年に、静岡薬科大学から静岡県立大学薬学部となってからの同賞の受賞者（但し平成6年度までの名称は、「日本薬学会学術賞」）は、矢内原昇教授（平成5年度）、阿知波一雄教授（平成7年度）、鈴木康夫教授（平成16年度）に次いで4人目となります。



産学民官連携

本学が取り組む地域貢献、産学民官連携活動による研究成果やイベント等の情報をご紹介します。

共同研究

国際関係学部 富沢寿勇教授 × 富士農商事(株)

ムスリムおもてなしガイドブック



ムスリムおもてなしガイドブック



富沢寿勇教授

国際関係学部の富沢寿勇教授と食品卸の富士農商事(株)が静岡市産学交流センターの平成27年度「地域課題に係る産学共同研究委託事業」に採択さ

れておこなった共同研究成果の一環としてイスラム教徒(ムスリム)受け入れのための飲食店や商品づくりの基礎知識をまとめたムスリムおもてなしガイドブックを作成しました。

ムスリムの食文化のほか、導入しやすいおもてなし方法を掲載。ムスリムが安心して地域を訪ねられるよう、取り組み企業を増やす予定です。

日本などの非イスラム圏ではハラールサプライチェーンの構築をまずめざしつつ、各企業が互いに不慣れなハラールについて情報交換し、原材料の授受で連携・協力することで、個々のハラール企業が成長すると今回の共同研

究では考えました。

同社を中心に複数の食品企業の意見・情報交換会を重ね、ムスリムに適合した静岡特有の食品・食材は何かを考え、地域の特色を生かしたムスリム観光誘致の地域モデルを提唱しています。

また、本学の食堂では平成25年11月より「ムスリム・フレンドリー・キッチン」というイスラムの規範に対応した「ハラール食」を目指したメニューを販売しています。

アルコールの入っていない食材や、ハラールの食材、同メニュー専用の食器、調理器具、調理担当者を配備し、様々な人々に利用しやすい環境を整えています。

男女共同参画社会への貢献をめざして

「男女共同参画推進のための共同宣言」の表明

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言への賛同



(右から)「男女共同参画推進のための共同宣言」を手にする鬼頭宏学長、犬塚協太男女共同参画推進センター長、小林公子副センター長

本学では、このたび、「男女共同参画推進のための共同宣言」への参加を表明し、大学内外で男女共同参画社会実現に向けた取組を一層進める姿勢を明らかにいたしました。

本学は、2013～15年度の3年間にわたって、静岡県を拠点機関に実施された文部科学省人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業(拠点型)」において、連携機関として、他の11の静岡県内の大学、研究機関等とともにその実施に携わってきました。この事業については、本学男女共同参画推進センターを中心として、女性研究者の研究活動の支援とワーク・ライフ・バランスの実現をめざして、研究機関相互の定期的な交流会やスタート・ワーク・アゲイン・ミーティング等各種セミナー、シンポジウムの開催、研究支援員制度等の有効な制度の積極的活用、女性研究者相互の交流と連携研究の促進など数多くの取組を行って

きましたが、2015年度末で実施期間が終了したことを機会に、この事業の成果に基づいて、この事業を連携して行ってきた機関の一部に新規の参加機関を加え、県内の9つの機関によって共同宣言を表明して、今後に向けて、女性研究者支援活動の一層の充実と男女共同参画の推進に協働で取り組む姿勢をアピールするために行われたものです。共同宣言を行った各機関の代表者は以下の通りです。

- ・ 静岡大学長
- ・ 静岡県立大学
- ・ 静岡英和学院大学長
- ・ 常葉大学長
- ・ 国立遺伝学研究所長
- ・ 株式会社鈴与総合研究所長
- ・ スズキ株式会社代表取締役社長
- ・ 株式会社Jオイルミルズ代表取締役社長

本学では、今後とも各機関との連携を深め、ダイバーシティの視点に立ち、本学に関わるすべての人々

が、性別に関わらずその個性と能力を十分に発揮できるよう、働きやすい環境の整備に努めるための取組を進めるとことと目指していきます。

またこの他にも、本学の鬼頭宏学長は、内閣府の推進している「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の行動宣言に賛同することを表明しました。これは、2014年3月に開催された政府の「輝く女性応援会議」をきっかけに、各地域・分野で活躍する女性たちを応援する取組の輪を社会的に影響力のある各界の男性リーダーに広げていくことを目的として、男性リーダーたち自らが女性活躍に対する取組や思いを「行動宣言」としてとりまとめ2014年6月に公表したものです。上記の「共同宣言」と併せ、本学の女性活躍、男女共同参画推進への積極的姿勢が、これによって一層明確に示されることとなりました。

図書館 だより

アジアの図書館を訪れる

附属図書館長 小幡壮

附属図書館長に就任したこの機会に、これまで訪れてきた思い出深いアジアの「図書館」について紹介したいと思います。2012年3月、一度は聖地巡礼をしたいとの思いに駆られて、ブッダガヤ〜ラーズギル〜竹林精舎・七葉窟(ブッダ入滅直後の第1回仏典結集の地)〜ナーランダ〜サルナート(鹿野苑)などブッダ縁の地を歩きました。ナーランダには5世紀に開学した広大な大学があり、2千人を超す教師のもとで1万人余の学生が学んでいました。9階建ての巨大な図書館のほかにくつつかの附属図書館があり、500万冊以上の蔵書があったと伝えられています。『大唐西域記』を著した玄奘三蔵法師は、こ

の地で学び膨大な量の経典を中国に持ち帰りました。また、義浄三蔵法師の撰になる『南海寄帰内法伝』には、この大学の教育内容が書かれています。『図書・図書館史』(佃編)には、ナーランダ大学の図書館の説明があります。

ミャンマーのマンダレーには、大理石に刻まれた仏教経典が収められている世界最大の「図書館」があります。1871年に当地で第5回仏典結集が開催されたことを記念して建てられました。2千数百人の僧侶が半年間にわたって作成に従事して完成させました。7百枚を超す石板が仏塔の中に収められている様は荘厳です。そのほかにも、米軍の空爆により廃墟

と化したベトナム中部のチャンパ遺跡の碑文庫「図書館」、ラオスのルアンパビンのワット・シェントーンで幼い沙弥たちの案内で見学した経堂「図書館」、世界遺産になったばかりのミャンマーのビイで立ち寄った植民地時代の市立図書館、独立前の日比交流史に関する資料を閲覧したマニラの国立図書館、タイの文化に関する貴重な資料を閲覧させてくれたサイアム・ソサエティの図書館、海外研修で通い詰めたシンガポール大学の ISEAS 附属図書館など、アジアには特色ある様々な図書館があります。アジアの図書館には旅行者でも利用できるものがあります。旅のついでにふらりと訪れてみてはいかがでしょうか。



私の一冊の本



編集者: 中室 牧子 慶応義塾
大学総合政策学部准教授
出版社: ディスカヴァー・トゥエンティーン
発行: 2015年6月
請求記号: 371.3 / N 37
ISBN: 978-4-7993-1685-6

「ご褒美で子どもを釣ってはいけない?」「ほめて育てるべきなのか?」など科学的根拠から明らかにしており、教育での思い込みに一石を投じている本です。教育では、個人の経験値等に基づいて主張される場面が多く、違和感を拭えないことが多々あります。どうしてそれが正しいのか、納得できる説明がなされないケースも見られます。

この本の中で、ご褒美と学力の面白い実験が紹介されて

紹介者 短期大学部歯科衛生学科准教授 野口 有紀
紹介図書 「学力」の経済学

います。「テストで良い点を取ればご褒美をあげるグループ」と「本を1冊読んだらご褒美をあげるグループ」では、どちらが子どもの学力を上げる効果があったかというものです。効果のあったグループは後者でした。それはどうしてでしょうか。子ども達のご褒美に対して、どのような行動をとったかがキーポイントで、ご褒美に対し何をすべきか具体的な方法を示すことが学力を上げることに大切だからなのです。勉強のやり方を示すご褒美設定をする方が、結果を重視するより良いということです。面倒がらず、具体的な方法を分かりやすく示していくことが重要だと思います。これは教育の現場だけでなく他にも言えることです。今話題になっているラグビー日本代表チームにも当てはまります。エディージャパンでは、ラグビーワールドカップで8位以内に入るためにがんばろうではなく、8位以内に入るために何をすべきかについて、各選手に合った具体的なトレーニング方法を示し指導して

いました。結果は皆様のご存知の通りです。

また、この本では「自制心」や「やり抜く力」についても取り上げています。「認知能力」(IQ や学力など)だけでなく、「非認知能力」(誠実さ、忍耐強さ、社交性、好奇心の強さなど)が人生に大きな役割を果たしているということについても、データを用いて説明しています。著者は、「学校とは、ただ単に勉強をする場所ではなく、先生や同級生から多くのことを学び、『非認知能力』を培う場所」と述べています。学力や知識も大切ですが、社会では「自制心」や「やり抜く力」など「非認知能力」が大切だと実感します。

この本で述べられていることを、教育の現場や子育てだけでなく、職場、家庭、グループ団体など様々な場面に置き換えて考えることもできます。評論家や専門家の意見、経験談に耳を傾ける前に、この本を読むと納得ができ、物の見方が変わるのではないのでしょうか。



教員人事

◆採用

平成28年4月1日付

角 替 弘 規	食品栄養科学部栄養生命科学科	教授
橋 本 彩 子	食品栄養科学部栄養生命科学科	助教
長 谷 部 文 人	食品栄養科学部食品生命科学科	助教
増 田 勇 人	食品栄養科学部食品生命科学科	助教
明 正 大 純	食品栄養科学部環境生命科学科	助教
望 月 智 貴	食品栄養科学部環境生命科学科	助教
堀 内 賢 志	国際関係学部国際言語文化学科	准教授
井 本 智 明	経営情報学部経営情報学科	助教
青 木 和 恵	看護学部看護学科	教授
篁 宗 一	看護学部看護学科	教授
杉 山 眞 澄	看護学部看護学科	准教授
安 田 真 美	看護学部看護学科	准教授
石 切 山 千 恵	看護学部看護学科	助教
倉 本 直 樹	看護学部看護学科	助教
佐 藤 唯	看護学部看護学科	助教
森 潔	薬学部	特任教授
徳 村 雅 弘	食品栄養科学部環境生命科学科	特任助教
武 田 修 一	国際関係学部国際言語文化学科	特任教授
楠 城 一 嘉	グローバル地域センター	特任准教授
エリック レン ハート	言語コミュニケーション研究センター	特任講師
福 田 純 也	言語コミュニケーション研究センター	特任助教

平成28年5月1日付

菱 木 麻 美	薬学部薬科学科	助教
紅 林 佑 希	薬学部薬科学科	助教
木 村 純 子	大学院薬学研究科	特任助教

平成28年7月1日付

真 塩 麻 彩 実	食品栄養科学部環境生命科学科	助教
-----------	----------------	----

●教員昇任

平成28年4月1日付

渡 辺 賢 二	薬学部薬科学科	教授
岩 尾 康 範	薬学部薬科学科	准教授
南 彰	薬学部薬科学科	講師
江 木 正 浩	食品栄養科学部食品生命科学科	教授
伊 藤 圭 祐	食品栄養科学部食品生命科学科	准教授
三 好 規 之	食品栄養科学部栄養生命科学科	准教授
藤 本 健 太 郎	経営情報学部経営情報学科	教授
武 藤 伸 明	経営情報学部経営情報学科	教授
冨 安 眞 理	看護学部看護学科	教授

平成28年5月1日付

金 子 雪 子	薬学部薬科学科	講師
---------	---------	----

平成28年7月1日付

関 俊 哲	薬学部薬科学科	講師
-------	---------	----

●配置換え 短大看護学科から

影 山 葉 子	看護学部看護学科	助教
近 藤 美 保	看護学部看護学科	助教

◆退職

平成28年3月31日付

武 田 修 一	国際関係学部（国際言語文化学科） 兼務 国際関係学研究科	教授
古 川 文 子	看護学部（看護学科） 兼務 看護学研究科	教授
伊 豆 見 元	国際関係学部（国際言語文化学科） 兼務 国際関係学研究科	教授
菅 谷 純 子	薬学部（薬学科） 兼務 薬学研究院	教授
小 原 一 男	薬学部（薬学科） 兼務 薬学研究院	講師
野 口 博 司	薬学部（薬学科） 兼務 薬学研究院	教授
末 松 俊 明	経営情報学部（経営情報学科） 兼務 経営情報イノベーション研究科	准教授
小 林 み どり	経営情報学部（経営情報学科） 兼務 経営情報イノベーション研究科	教授
西 山 克 典	国際関係学部（国際言語文化学科） 兼務 国際関係学研究科	教授
渡 辺 達 夫	食品栄養科学部食品生命科学科	教授
上 田 真 仁	看護学部看護学科	助教
横 山 英 志	薬学部薬科学科	講師
野 口 修 治	薬学部薬科学科	准教授
小 川 雅 代	看護学部看護学科	助教
細 谷 孝 博	食品栄養科学部食品生命科学科	助教
川 原 田 茜	経営情報学部経営情報学科	助教
掛 田 崇 寛	看護学部看護学科	教授
ベイリー・ベンジャミン	言語コミュニケーション研究センター	特任講師
小 川 睦 美	言語コミュニケーション研究センター	特任助教
中 垣 紀 子	看護学部看護学科	特任教授
式 守 晴 子	看護学部看護学科	特任教授
大 橋 雅 生	薬学部薬科学科	特任助教

弔事

去る4月30日、静岡県立大学グローバル地域センターの竹内宏センター長が急逝いたしました。

4月1日に体調を崩して入院したのですが、同月23日には退院し、その後は自宅で静養されていた矢先のことでした。

竹内センター長は、静岡県公立大学法人理事長、グローバル地域センター長の要職を歴任され、この間、大学法人の経営やグローバル地域センターの業務を統括する他、自らも調査研究を進め、その成果を国内外に広く情報発信することにより、地域の発展に大きく寄与されました。

療養中も、研究や授業、新聞に掲載するエッセイのテーマについて構想を練るなど、仕事に対する情熱と意欲が衰えることはいささかもありませんでした。グローバル地域センターは、地域の課題に取り組む調査研究機関として引き続き活動してまいりますので、変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

グローバル地域センター 事務局

はばたき

●次号133号は2016年11月1日発行の予定です。

132号 2016年7月1日発行
発行元／静岡県立大学広報委員会

■静岡県立大学広報室
■〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1
■TEL／054-264-5130 ■FAX／054-264-5099
■E-mail／koho@u-shizuoka-ken.ac.jp
■URL http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/



ご意見・情報をお寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほか、ご卒業生などに関連する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

卒業式袴の専門店

レンタル

静岡の貸衣裳の老舗
京都むらまつ

静岡県立大学

をご卒業予定
の皆様

学校内（谷田キャンパス）で、展示予約会を行ないます！

check 1 「式当日、便利」

式当日、県大内（谷田校舎）で
着付け・ヘアー・写真撮影
が出来ます！

※グランシップまで送迎が有ります。

check 3 「その他」

- グランシップでも展示会を行ないます（11、1月）。
- 短大生は当社ホームページをご覧ください。
- 6月25日から卒業袴予約スタート。
詳しくは当社HPに掲載！

check 2 「県大内で予約できる」

学校内（谷田校舎）展示予約会

場所：上食堂1階ラウンジ

時間：11時～17時

日にち：H28年10月12日（水）

10月13日（木）

11月10日（木）

11月11日（金）

京都むらまつ

店舗情報

場所：静岡市葵区馬場町25-2
（静岡浅間通り商店街）電話：0120-144081（フリーダイヤル）
054-252-5293（代表）営業：10時～17時
（水曜定休、お盆・正月休み有）<http://www.kyoto-muramatsu.jp>

HP検索 京都むらまつ

「はばたき」読者限定！

県大生応援キャンペーン!!

〈お申込時にこの冊子をご持参下さい〉

9月末までにご入校の方に
TDLパスポートが
ペアでもらえる!

※普通自動車で入校の方が対象です
※限定解除の方は対象外とさせていただきます

古庄は
特典がいっぱい

優先予約で短期取得可

再検定料一切不要

技能オーバー無制限保証

夜間料金無料

免許は取ったけどしばらく
乗ってないから運転が不安で...

卒業生特典
ペーパードライバー講習
1時間無料

※普通車のみ：2・3・8月を除く

お申込みは
フリーダイヤル

0120-155-168

携帯からでもOK
※デランを見たとお伝えください。

公認 古庄自動車学校

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目11番15号

TEL.054-261-1551

FAX.054-264-0940

URL <http://www.flushyou.co.jp>Mail main@flushyou.co.jp